

2022 年 7 月 17 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒92 番（SK 姉）

『恵みの御神は』

聖書⇒マタイによる福音書 18:18~20 編（MM 姉）

『はっきり言っておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなわれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。また、はっきり言っておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。』

礼拝讃美歌⇒397 番（旧 68 番）

『主よ君の御名に』

聖書⇒ヨハネの手紙一 1:1~4 節（SK 兄）

『初めからあったもの、わたしたちが聞いたもの、目で見たもの、よく見て、手で触れたものを伝えます。すなわち、命の言について。——この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです。——わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたもわたしたちとの交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです。わたしたちがこれらのことを書くのは、わたしたちの喜びが満ちあふれるようになるためです。』

〈祈り〉

礼拝讃美歌⇒81 番（旧 45 番）

『神に栄え』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 3:5~6 節（ES 姉）

『この計画は、キリスト以前の時代には人の子らに知らされていませんでしたが、今や“霊”によって、キリストの聖なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となるということです。』

〈祈り〉

《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 6:53~58 節 (KH 兄)

『イエスは言われた。「はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。』

(式)

礼拝讃美歌⇒155 番 (旧 208 番)

『神の小羊は』

《建徳》

聖書⇒創世記 1:1~2 節 (KH 兄)

『初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。』

聖書⇒創世記 1:26~27 節

『神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。』

聖書⇒創世記 1:31 節

『神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。…』

聖書⇒創世記 2:7 節

『主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に**命の息**を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。』

聖書⇒創世記 3:17、19 節

『神はアダムに向かって言われた。「お前は女の声に従い／取って食べるなど命じた木から食べた。お前のゆえに、土は呪われるものとなった。お前は、生涯食べ物を得ようと苦しむ。

お前は顔に汗を流してパンを得る／土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。』』

聖書⇒ヨハネの黙示録 21:1 節

『わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなった。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 22:2~4a 節

『川は、都の大通りの中央を流れ、その兩岸には命の木があつて、年に十二回実を結び、毎月実をみのらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。もはや、呪われるものは何一つない。神と小羊の玉座が都にあつて、神の僕たちは神を礼拝し、御顔を仰ぎ見る。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 21:3~4 節

『そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあつて、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。』』

聖書⇒使徒言行録 2:22~24 節 (SK 兄)

『イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいました。あなたがた自身が既に知っているとおります。このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまつたのです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかつたからです。』

礼拝讃美歌⇒399 番

『みふみをひもとく』

《建徳要旨》